

「北部丘陵の新名称」に関する意見募集の実施概要

市では、地域の目標像『人と人が育む、美しく、いきいきとした町田ならではの里山』を目指すにあたり、現在の地域名称「北部丘陵」をよりふさわしい名称へ変更するため、候補案に対し、広く市民の皆さんのご意見を伺いたいと考え、意見募集を行いました。

1. 意見の募集期間

2011年1月11日（火）から2月10日（木）

2. 意見の募集方法

- 「広報まちだ1月11日号及び1月21日号（都市づくり特集号）」に概要を掲載
- 1月11日から「町田市ホームページ」に詳細を掲載
- 以下の窓口にて資料を配布

北部丘陵整備課（市役所森野分庁舎2階）、都市計画課（市役所中町第3庁舎1階）、公園緑地課（市役所木曾庁舎1階）、市民相談室（市役所本庁舎1階）、市政情報やまびこ（市役所中町分庁舎1階）、各市民センター、玉川学園文化・木曾山崎の各センター、市民協働推進課（町田市民フォーラム3階）、町田・南町田の各駅前連絡所、各市立図書館、町田市民文学館

3. お寄せいただいたご意見の内訳

53名の方から、候補案に対する賛否のご意見及び89件の個別のご意見をお寄せいただきました。ご意見の内訳は次のとおりです。

3-1	候補案に対する賛否意見の内訳	総数	53名
	・案1「まちだ・田園の杜」に賛成		5名
	・案2「まちだ・丘陵の里」に賛成		28名
	・案3「まちだ・ふところの里」に賛成		4名
	・3案いずれにも反対		16名
3-2	個別意見の内訳	総数	89件
	・案1に対する意見		8件（賛成4件、反対4件）
	・案2に対する意見		31件（賛成26件、反対5件）
	・案3に対する意見		11件（賛成5件、反対6件）
	・3案いずれにも反対の意見		9件
	・別名称の提案		16件
	・新名称の決め方に対する意見		12件
	・その他の意見		2件

「新名称への変更についての市の考え方」

今回いただいたご意見では、案2「まちだ・丘陵の里」に賛成が28名あったものの、候補案いずれにも反対の方が16名いました。また、個別意見89件の中では、新名称の決め方に関する否定的意見が12件、別名称の提案が16件あり、地域にお住まいの方々にも同様の意見がありました。

さらに、全体的に見ると名称変更に対する市民の関心が十分高まっているとはいえない状況で

あることがわかりました。

このことから、現時点で、候補案から新名称を決定するのは適当ではないと考えております。新名称については、今後も決定方法や変更時期等について、多くの市民の理解・賛同が得られるよう継続して検討していくとともに、活性化事業の進展や地域の情報発信により、地域住民を始め多くの市民が、新たな地域名称の必要性を感じていただけるよう取組んでまいります。

*個別意見 89 件の概要は、以下のとおりです。

■案1に対する意見:「まちだ・田園の杜」について (8件)

ご意見	件数
賛成である * 発音しやすくてよい。 * 響きがやわらかい感じがしてよい。 * 「杜」の字に豊かさが感じられてよい。 * 静かで田園が多い北部丘陵のイメージに近い。	4件
反対である * 「田園」というイメージはない。 * イメージがつかめない。 * 「田園」というイメージがわからない。 * 北部丘陵に田んぼはない。	4件

■案2に対する意見:「まちだ・丘陵の里」について (31件)

ご意見	件数
賛成である * 「丘陵」の名を残したい。 * 「丘陵」の名を残した方がよいと思う。 * 「北部丘陵」という名称で長い間親しんできた。「丘陵」という字が入っているのでよい。 * 北部丘陵という地域なので、「丘陵」が入っているのは、ぴったりである。 * 北部丘陵には里山があるので「丘陵」が含まれるのは良い。 * 「丘陵」の持つイメージが現状に近い。 * 北部丘陵の地域は、あくまでも多摩丘陵の一角にあるに過ぎないので「丘陵」という言葉がある案2がよい。 * 広大な丘陵の一角で、その広大な丘陵はすでに失われている貴重な地域であることを常に忘れないために、名称に「丘陵」を入れたい。 * 「里山」のイメージを併せ持つ地域としてふさわしい名称である。 * 「東京・多摩丘陵の里山・まちだ」のように東京・大都市近郊故の貴重な里山が強調されている。 * 緑地と里山をイメージできる。 * 対象の地域は、里山景観を残し、都会に住む人々が気軽に訪れる里であると考えられるので。 * この地域は、高尾山から続く低い山地で、町田市を通り三浦丘陵に至る、多摩丘陵の一角である。農と緑が広がる大自然の里で、特徴のある原風景の里山を残している現状と近い。	26件

<ul style="list-style-type: none"> * 地域の場所が特定できるのでよい。 * 誰もが名前を聞いて場所を特定または想像することができる。 * 広い町田市の中で、丘陵という地理的な名称で地域を特定することができる。 * 北部丘陵のイメージが残っているので、親しみを感じる。 * 今までの北部丘陵のイメージが残っていてよい。 * 地域の特徴である「丘陵」と「里山」両方が表現されていてよい。 * 多摩丘陵は万葉人も「多摩の横山・・・」と詠んだ特徴ある風景。「丘陵」が入っており、また、今は貴重になっている里山づくりをめざす意味も込めて「里」を入れたこの名称がいい。 * 「まちだ」「丘陵」「里」三つの言葉を残したい。大好きな言葉である。 * 山あり、谷あり、川あり、畑ありと自然風景が凝縮されている、地形的な特徴を想像できる。 * 地理的、歴史的な流れは、関東地方全体の中にあって、町田地域を経て三浦半島に抜ける大きな多摩丘陵の一角を形成してきた。この原点を引き継いでいくことは過去の様々な経緯をも担っていくことになり違和感も少ないので第2案を是非残してもらいたい。 * 多摩丘陵の続きで、他の市とも伸びやかに続く感じがよい。 * 多摩丘陵の自然を充分感じさせる。 * 発音がしやすい。 	
<p>反対である</p> <ul style="list-style-type: none"> * 丘陵の言葉は初めての人は読みにくく、難しい。 * 「丘陵」という言葉が市民や都民にあまり理解されていない現状。親しまれ、受け入れられるか疑問である。 * 多摩丘陵のイメージをそのまま使用したように感じられ、事務的で奥行きが感じられない。 * 「丘陵の里」の丘陵と聞くと、多摩丘陵を思い浮べる人が多いのではないか。 * 若い人には想像のつかない言葉であり親しめない言葉だと思う。 	5件

■案3に対する意見:「まちだ・ふところの里」について (11件)

ご意見	件数
<p>賛成である</p> <ul style="list-style-type: none"> * 上京し結婚以来 50 年あまり町田に住まい、家族とともども町田市に幸福な家族を営んでいる。まさに町田市の多摩丘陵の母なる「ふところ」に抱かれて永遠の故郷に温かさを心に刻んでいる。 * 今後何年も使われることを考えると「ふところの里」が一番印象に残るので多くの市民に覚えてもらえるのではないか。 * 心のよりどころというイメージがあり、落ち着く感じがする。 * イメージ通りだと思う。 * ひらがなの名称のため、暖かさや柔らかい印象を受けてよい。 	5件
<p>反対である</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「ふところ」はイメージ的によくない。 * 「ふところ」は、場所ではなく人に対して使う表現である気がする。 * 「ふところ」が、ふところ手、ふところが淋しい、ふところに入れる等々日常つかわれているので混同、混乱が懸念される。 * 若い人には想像のつかない言葉であり親しめない言葉だと思う。 * まったくイメージがつかめない。 * 子供に聞いたところ「ふところ」の意味が分からなかった。 	6件

■ 3案いずれにも反対の意見（9件）

ご意見	件数
<p>3案いずれにも反対である</p> <ul style="list-style-type: none"> * 3案ともよそよそしい名称で、陳腐な印象を受ける。 * どれも良いとは思わない。3案とも古くさい。 * 田舎風のイメージであるため、どれもふさわしいとは思わない。 * 田舎くさいイメージで、この地域の住民として自慢できない。 * 古くさいイメージで、この地域の住民として誇りに思えない。 * 生物多様性や自然保護の観点からの名称がないのは変だと思う。 * 現在の3案では、せつかくの貴重な財産を後世に引き継ぐには、無策な感が否めない。 * どの名称もとってつけたようでふさわしくない。 * この地域に住んでいる市民が、望む名称とは思えない。使い古された古臭い、特徴の無いイメージで、将来の夢が感じられない。活性化を進めるために、少し夢のある名称が必要ではないか。 	9件

■ 別名称の提案（16件）

ご意見	件数
<ul style="list-style-type: none"> * 町田には、里地・里山が点在する。町田全体の里地・里山を保全する為にも、里地・里山又は谷戸田・谷戸山をいくつかに分けて表現してはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・まちだ里地・里山(小山田) ・まちだ里地・里山(小野路) ・まちだ里地・里山(図師) ・まちだまほろばの里(小山田) ・まちだ桃源郷(小山田) ・たま丘陵保全の里(小山田) * 自然のイメージと強さを感じる「まちだ大鷹の里」。小野路北部丘陵に生息する、自然の豊さがないと生きていけない生物が、都心から近い所で生息する町田のよさをアピールできるのではないか。 * ストレートに「まちだ・北部丘陵」や「まちだ・小山田・小野路丘陵」でも良いのではないか。 * 「まちだ丘陵の杜」がいいのではないか。田園より畑が多い地域のように思う。「杜」にはその街に住む人たちが長い年月育ててきた豊かな緑をさすという意味があることから取り入れたい。 * 自然の保全だけでなく、農的な営みからいろいろ享受することができる、また、私たちとともに今後も育まれる場所としてのニュアンスを汲んだ名称がよい。 * 無理に新名称にしないで、「まちだ・北部丘陵」でもよい。 * 「北部丘陵」という名称にぼやけた印象があるのは事実だが、新名称3案のようなものに変えてしまうことには、これまでのつながり、情感のようなものが感じられなくなってしまうようで、異和感を覚える。この3案はサブタイトル(名称)とし、メインの名称は「きた丘陵」とすることでこれまでとのつながりを明確にしてはどうか。(例)「まちだきた丘陵—田園の杜」 * もっと北部丘陵地の場所性がわかる言葉を入れたらどうか。「谷戸」もしくは、市の資料で見た「谷戸山」といった名前を使った方が町田市としての名称にふさわしい。「谷戸の郷(さと)」など。意味はわからずとも、町田市民であれば一度は聞いたことがあるはず。町田の特長である地形を表す絶好のキーワードである。 * 「まちだ丘陵」と銘打つのも町田の新しいロゴ創作のようでいい。 * 「まちだ丘陵の里山」として、東京のこんな近くに里山のモデルとも言うべき素晴らしい里山が現存していることをアピールすべき。 * 「まちだ・やすらぎの里」 	16件

<ul style="list-style-type: none"> * 北部丘陵の名前を変えることに反対である。 * 無理に新名称にしなくてもよい。 * 北部丘陵の場所がわからない市民も多いので、「北部の丘陵地」と理解できる、現行の「北部丘陵」を使い続けても問題ないのではないか。 * 「北部丘陵」も決して悪くないと思う。 * 不動産会社が開発分譲地に付けたようなイメージでどれもよくない。「北部丘陵」の方がすっきりしていて格好がよい。 	
--	--

■新名称の決め方に対する意見（12件）

ご意見	件数
<p>地域の住民の意見を聞いた上で名称を決めるべき</p> <ul style="list-style-type: none"> * 住んでいる人達はどう呼んでいるか。まずは地域の居住者の意見をアンケート等で聞いた上で名称を決めるべきではないか。 * この地域に住んでいる市民が望み誇れるような名称とすべき。パブリックコメントにかける前に、地域に居住する市民にアンケート等で意見聴取すべき。市全体から見れば、この地域に居住する市民は少数なので、多数決の論理で少数意見が反映されないのではないか。 * 市民に選択させる前に、地域の居住者に事前アンケート等の意見を聴取し、意見を反映してから実施すべきではないか。 * この地域に住んでいる人たちの意見を聞いた上で、パブリックコメントにかけて欲しい。 * この地域に住んでいる人たち全員の意見をアンケート等で聞いた上で、パブリックコメントにかけてほしい。 	5件
<p>市民公募で決めてはどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> * 市民に「新名称の募集」を呼びかけてはどうか。 * 3案のどれも余りピンとこない。別な名称も含めて公募した方がよい。 	2件
<p>3案の提案の経緯を示してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> * この3案が提示された経緯(選考メンバー、地域の意見の聴取方法と意見内容など)を示してほしい。 * 3案に決めた経緯が示されていない。地域の居住者にどれだけ意見を聴いたのか。外部の有識者の意見で決めたのか。不透明の中は選択できない。 	2件
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> * 名称募集は、広く市民から名称を求め、応募の中から絞っていくもので、これが常識ではないか。市役所内の少人数で3案を作成し、3択を市民にはかり、これで、「市民参加」「市民から意見をお聞きした」というつもりか。一般市民や地域住民からも、理解できない、白紙に戻すべきとの声が出ている。 * すでにこの3つに決められているのはおかしい。 * 反対意見を書く者が住所名前電話番号まで書かなければならないのは、勇気がいる。やり方を検討してほしい。 	3件

■その他の意見（2件）

ご意見	件数
<ul style="list-style-type: none"> * 名称の中に「・」が入るのは、正確に伝わりにくく、適さない。 * 「北部丘陵」は町田固有の呼び方であるが市民にとっても親しみが無く無機質な呼称である。実存の自然の素晴らしさを表現する親しみ深い適切な呼称に早急に変更した方がよい。 	2件